

# 人類学演習Ⅲ 談話会

日時：4月15日(金) 16:30~18:00

場所：201号室

演者：斎藤成也 先生

(国立遺伝学研究所 教授)

演題：日本列島人の成立

## 要旨

現在の日本列島に住んでいる人々がどのようにして成立してきたのかについては、集団が完全に置換したとするひとつの極（置換説）と、当初の渡来人の祖先がそのまま変化してゆき、その後の渡来はなかったというもうひとつの極（変形説）がある。両者の中間に位置するのが、大陸からの渡来が複数回あり、それらが混ざりあったという穏当な説（混血説）である。まずこれら3説の歴史的変遷をたどり、現在定説とされている二重構造説を少しくわしく紹介する。次に、最近解析を終了したばかりの、大規模 SNP データに基づく解析結果をご紹介する。この結果と、東南アジアの人類集団について同様に解析した結果から、種内の「集団」を定義することについての困難さについて議論したい。

担当 田宝 玄人(石田研究室)